



CFTC建玉報告:NY金(9月29日時点)

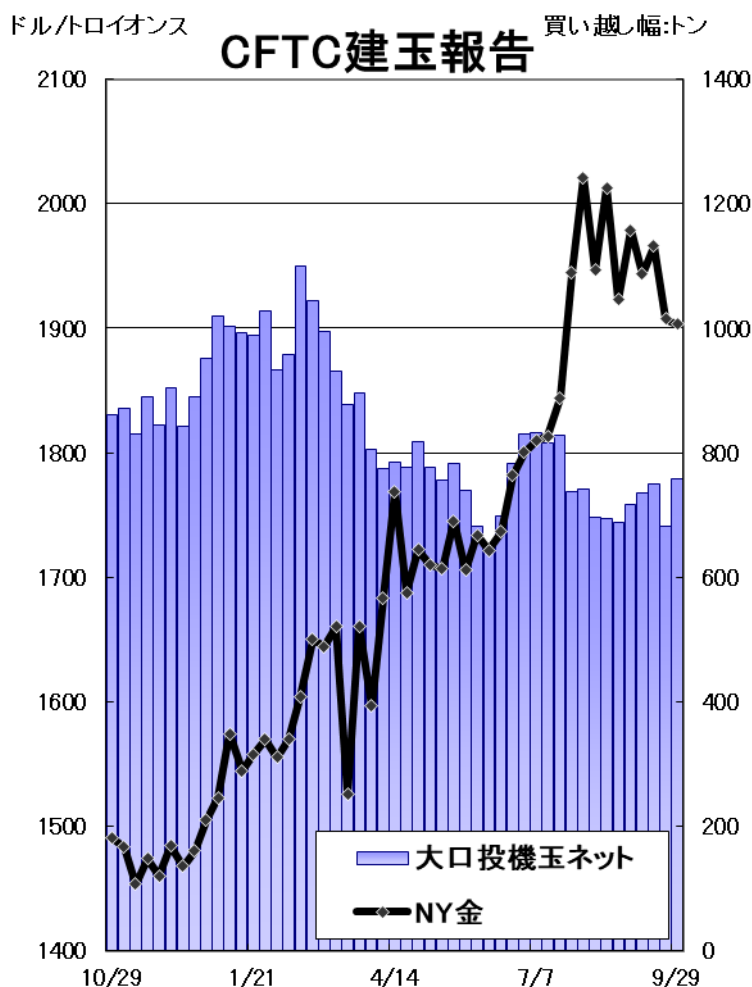
米商品先物取引委員会(CFTC)が10月2日に発表した建玉報告によると、9月29日時点のニューヨーク商品取引所(COMEX)金先物市場の大口投機筋(非商業部門)の買越幅は24万3659枚となり、前週比2万4599枚拡大。期間中、投機筋は買いポジションを増やし、売りポジションを減らした。

期間中のNY金は軟調。新型コロナウイルス感染者数の増加や、米国経済支援に向けた景気刺激策実施を巡る不透明感から投資資金がドルへ流れたことで、対主要国通貨でのドル高が進行。英国と欧州連合(EU)の自由貿易協定(FTA)締結交渉が難航する中、対ユーロでのドル高が進行し、ドル建てNY金は割高感からの売りが入り下落した。

また、新型コロナウイルス危機に対応した追加経済対策を巡り、米野党民主党のペロシ下院議長は27日、ムニューシン財務長官との間で合意が依然可能との見方を示したが、共和党と民主党は景気刺激策を実施することについては大筋で合意しているものの、その規模を決定できていない。そうした不透明な状況が、投資家らをドルに逃避させたこともドル高の要因となった。

ただ、欧州で新型コロナウイルスの感染再拡大により、景気の先行き不透明感が強まっていることや、米連邦準備制度理事会(FRB)当局者が金融緩和政策を継続する姿勢を改めて確認したことなどから、安全資産としての需要から買われ、下げ幅は限られ、売り一巡後は底固い値動きとなった。

NY金	終値	買い越し幅	
06/02	1734.0	219,034	681.3
06/09	1721.9	208,613	648.9
06/16	1736.5	224,348	697.8
06/23	1782.0	251,957	783.7
06/30	1800.5	266,670	829.4
07/07	1809.9	267,358	831.6
07/14	1813.4	262,428	816.2
07/21	1843.9	266,436	828.7
07/28	1944.6	236,801	736.5
08/04	2021.0	238,746	742.6
08/11	1946.3	224,053	696.9
08/18	2013.1	223,518	695.2
08/25	1923.1	221,038	687.5
09/01	1978.9	230,796	717.9
09/08	1943.2	236,473	735.5
09/15	1966.2	240,977	749.5
09/22	1907.6	219,060	681.4
09/29	1903.2	243,659	757.9
前週比	-4.4	+24,599	+76.5



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員
当社お客様相談窓口(東京・本社) 0120-770-266(平日 8:30~17:00)、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。